

# 文-40

# とき

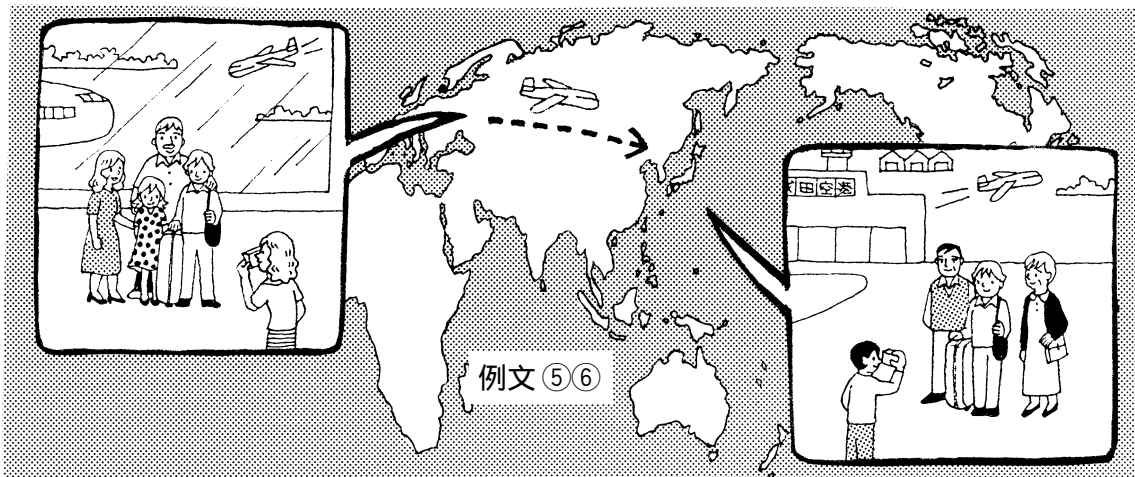
N1 が	V1(常体形)	とき	N2 は/が	V2 ます
	A1 い			A2 です
	AN1 な			AN2 です
	N3 の			N4 です
S1		S2		

N1:「とき」節の主語

## 基本

### 例文

- ① 漢字がわからないとき、わたしは辞書で調べます。
- ② わたしが晩ごはんを食べているとき、友だちがうちへ来ました。
- ③ わたしがうちへ帰ったとき、うちにだれもいませんでした。
- ④ 外国へ行くとき、パスポートを持って行きます。
- ⑤ 日本へ来るとき、空港で写真を撮りました。
- ⑥ 日本へ来たとき、空港で写真を撮りました。



- ⑦ 寝るとき、めがねをはずします。
- ⑧ 起きたとき、めがねをかけます。
- ⑨ うれしいとき、わたしは歌を歌います。
- ⑩ お母さんは若いとき看護婦でした。
- ⑪ 暇なとき、よく本を読みます。
- ⑫ リーさんは桜の花がきれいなとき、日本へ来ました。
- ⑬ 小学生のとき、よくお父さんとつりに行きました。
- ⑭ 子供のとき、にんじんがきれいでした。

# 解説

- A. 「とき」節は、S2で表されることがいつのこともを示す。(例文①～⑭)
- B. 「とき」節の主語N1は、「が」をとる。(例文②③⑫)
- C. S2で時制を表す。(例文①～⑭)
- D. 「とき」節は、V1とV2が表す動作の時間的前後関係を示すことがある。(例文⑤⑥⑦⑧)

「V1(非過去形) + とき、V2」	V1の行動が完了する前に V2の動作をする	= V1前に、V2
「V1(過去形) + とき、V2」	V1の行動が完了した後で V2の動作をする	= V1後で、V2

- E. 「A1 / AN1 / N3の」は、S2の時制に影響されない。(例文⑩⑪⑫⑬⑭)
- F. 「N2は」は、文頭に来ることができる。(例文⑩⑫)

N2	は	N1が	V1(常体形) A1い AN1な N3の	とき	V2ます A2です AN2です N4です
----	---	-----	-------------------------------	----	-------------------------------

## 先生へ

「とき」節の後に、時を示す助詞「に」をつけることができる。

V1が状態動詞(いる、あるなど)で、V2が過去形のときは、V1は非過去形、過去形のどちらでもよい。

例 部屋にいるとき、電話しました。  
部屋にいたとき、電話しました。

V2が過去形のとき、「とき」節で「A / AN / N」の常体形過去を使うこともできる。「とき」節で表されている状態が現在とは違うことを強調したいとき、過去形にする。

例 若いとき、よく泳ぎました。  
若かったとき、よく泳ぎました。

N1がN2と同じ場合は、「N1が」は省略される。また、N1、N2が何であるかわかっている場合、「N1が」「N2は」を省略することができる。

### 【関連項目】

活-05 常体形  
文-35 まえに  
文-36 あとで

### 【「れんしゅう編」の練習】

12-2 それはいつですか  
12-3 何と言いますか  
12-4 便利なマーク  
12-6 クイズ「日本」  
12-9 有名人